みのちましますいちげんじんじゃ

水内坐一元神社遺跡 発掘調査現地説明会のご案内

長野市埋蔵文化財センターでは、柳原雨水調整池整備事業に先立ち、弥生時代の大規模な集落跡として知られる水内坐一元神社遺跡の発掘調査を令和７年５月から実施しています。

今回の調査では弥生時代中期から中世にかけての遺構・遺物が多数みつかっており、なかでも弥生時代中期から古墳時代にかけての生活の様子が明らかになりつつあります。

このたび、調査成果をいち早く市民の皆さまへ公開するため、下記のとおり発掘調査現地説明会を開催します。多くの方のご来場をお待ちしております。

記

１　場　　所　長野市大字小島804-5　水内坐一元神社遺跡発掘調査現場
（裏面案内図を参照）

２　日　　時　**令和８年11月８日（日）13：00～14：30**（受付開始12：30）
入場無料・申込不要　※ 荒天中止

３　内　　容　・現場内を解説員の案内によりご見学いただきます。
・会場にて遺跡から出土した遺物の一部を展示します。

４　注意事項　・車でお越しの際は柳原総合市民センター駐車場をご利用ください。
・発掘現場は足元が悪いため、履きなれた靴でお越しください。
※ 安全のためサンダル等でお越しの方は現場見学をお断りします

５　注目される調査成果

古墳時代前期の有力者が埋葬された方形周溝墓（しゅうこうぼ）を発見！

二重口縁壺や東海系土器を供献した古墳時代前期（３世紀後半）の方形周溝墓がみつかりました。周溝で区切られた一辺11mの方形区画内部には、低いマウンド（墳丘）が築かれ中央に有力者の遺体を納めた墓の主体部があったと考えられますが、主体部は後世に削平され消滅しており、今回の調査では周溝部だけが確認されました。

周溝の中からは２体の人骨がみつかり、付近から供献された壺や装飾品の管玉が出土しました。壺は焼成前に底部に穴が開けられており、儀礼のために用意されたものとわかります。こうした儀礼壺はヤマト政権の大王墓にも認められ、長野盆地に古墳時代の葬送儀礼が波及した様子を読み取ることができます。



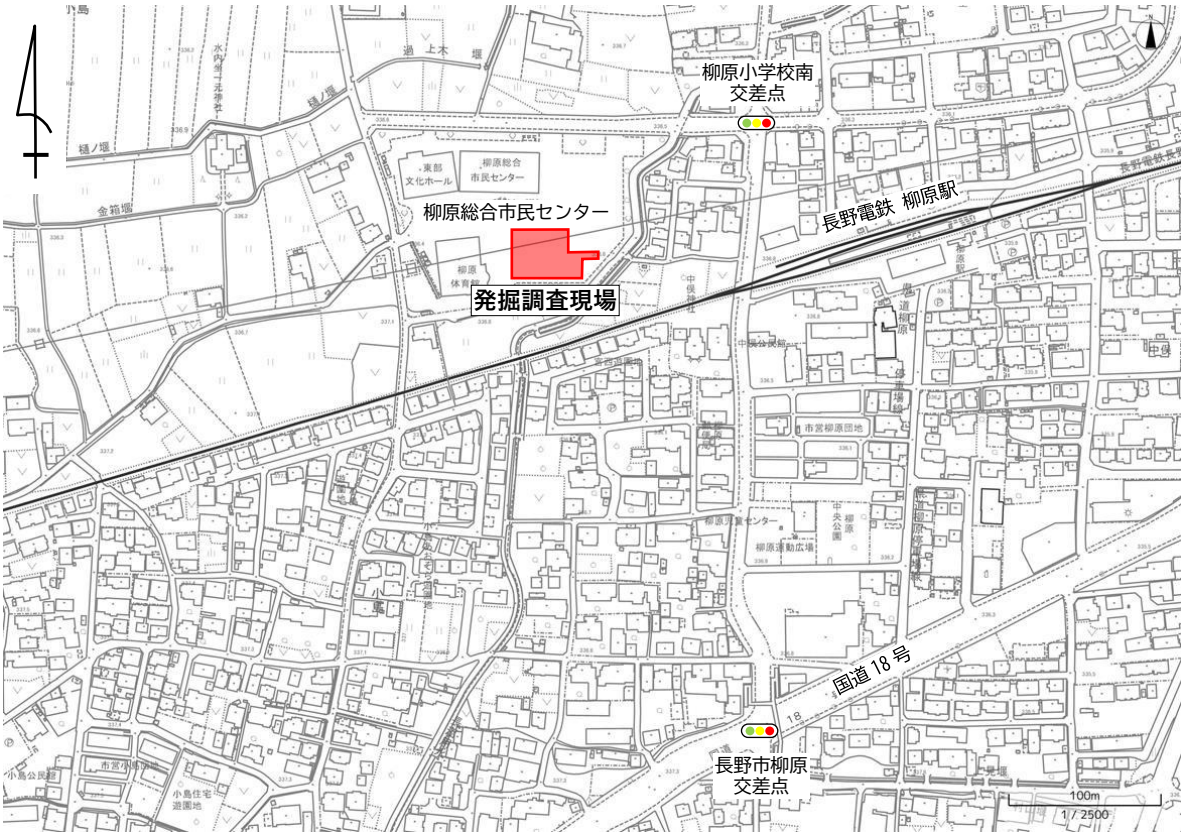
周溝の中から人骨が出土した様子（写真左側が頭部）

６　お問い合わせ

長野市観光文化部　長野市埋蔵文化財センター（担当：宮坂）
電話　026-284-0004　　メール　maibun@city.nagano.lg.jp

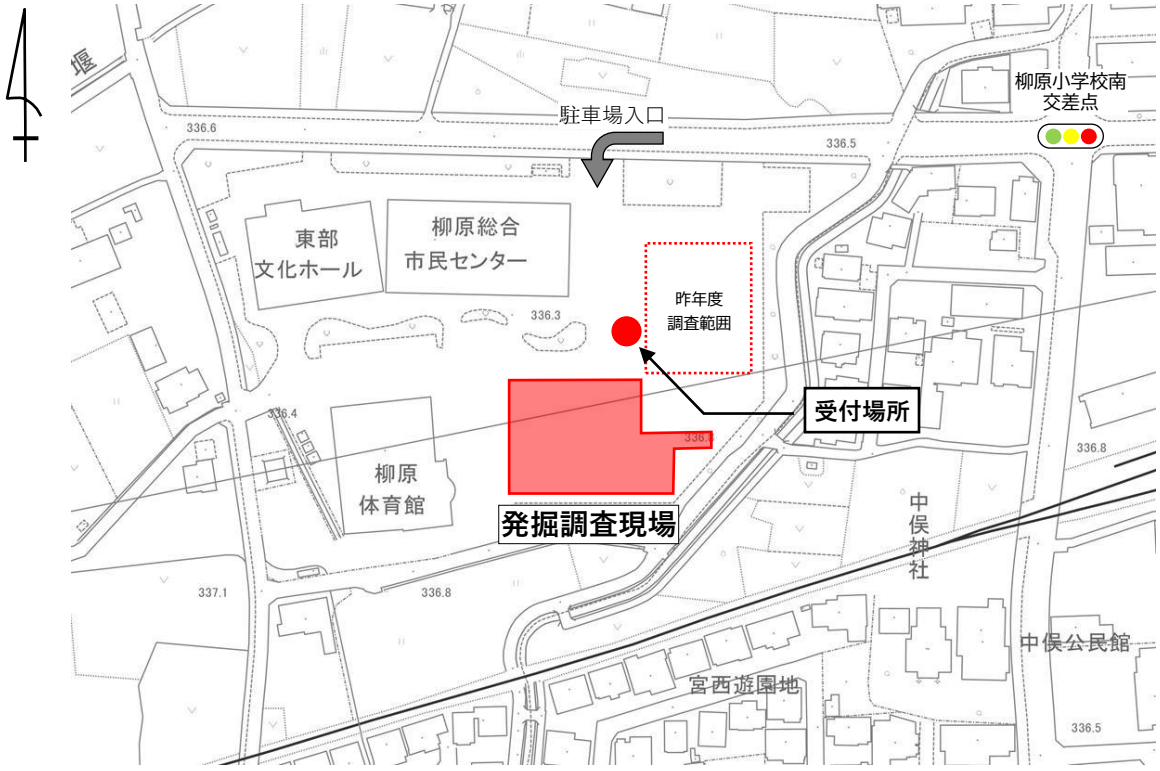
主催：長野市（観光文化部文化財課　長野市埋蔵文化財センター）

◆ 発掘調査現地説明会　案内図



※ お車でご来場の際は、柳原総合市民センター駐車場をご利用ください。

◆ 受付場所案内図



※ ご来場の際は、交通安全に十分ご留意ください